

# 首相補佐官暴言

7/29  
赤旗

# 政府・与党火消しに躍起

本人はネット上で本音隠さず

等の法規を遵守する事院安全保険環境を十分に踏まえ

保法制特別委員会が28日に始  
る必要があるとの認識を示し  
ました。磯崎陽輔首相補「た発言だ」と磯崎発言の趣旨

佐官が26日に「法的安定性は肯定。その上で」「疑念を関係ない。(集団的自衛権行使が) もたれるような発言は(つ)使が) わが国を守るために必要な措置かどうかを気にしました。

「いといかない」と発言した。磯崎氏の更迭要求に対し、  
とてに觸して、野党側から安倍  
晋三首相の責任を問う声が相  
次ぎました。  
◆関連②面  
首相は「安保法制を議論す  
るついで、わが国をとりまく  
た」として、拒否。首相自ら  
の責任を放棄する姿勢をみせ  
ました。民主党の福山哲郎議

廣雅

質疑に先立つ28日午前の特別委員会で自民党側は、同党の事情聴取に対し磯崎氏が「私の発言で、国会、委員会運営に迷惑をかけ、心からの反省し、おわび申し上げる」と

「誠罪」した心地を離脱するなど、火消しに躍起となりました。

- (私の主張) 在途新規認定の4つのキーワード(7月19日)Next!
- (私の主張) 在途新規認定は終了(7月14日)Next!
- (私の主張) 在途新規認定はなぜ会員登録(6月7日)
- (私の主張) 在途新規認定はなぜ会員登録(6月7日)

総理補佐官を務める磯崎謙輔参院議員のホームページ

付)が削除され、そのままである重要政策]を担当する閣僚としての立場を失った。戦争法案に関する首相補佐官。戦争法案も事実上、取り仕切った。

自衛権行使答認の(7-1開局は法的安定性が保たれ

磯崎氏は、自らのツイッタ  
ー上でも、問題となった発言  
の要旨を紹介する投稿まで掲  
載しており、本音を隠そと  
もしていません。  
磯崎氏は、「国家安全保障に  
に崩壊した形です。

切ってきた人物です。砂川事  
件の最高裁判決や1972年  
の政府見解を持ち出して戦争  
法案の「法的安定性」を取り  
繕ってきた政府の論理は完全

議決定を策定してきた。これが  
は、政府が従来の政府見解  
(集団的自衛権行使否定) と  
百八十度違つたことを書いたた  
のだが、法的安定性を保つた  
からといふことだから、アント

法治のあり方 軽視

憲法研究者らも批判

のものを極めて発育だ」「だ直」と指揮じめた。

確立陽軸相補佐<sup>シカ</sup>が戦争定にこじらめく、法に基<sup>シ</sup>い、法案について「法的安定性は、た統治のあり方を軽視する姿

関係ない」と発言したことに対し、勢が表れていた（永山茂樹  
について28日、記者会見で同法 東海大教授）と批判しました。

案抗議声明を発表した憲法研究者が「単なる立憲主義の舌学教授は、「磯崎氏や内閣法